



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：郵便番号016-0895 秋田県能代市末広町9-18 秋林弘道方 電話0185-52-1582

会設立からの歩み

今号には平成20年3月から20年7月までの活動を記録。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

99 平成20年度総会開催される

4月11日(金)午後1時30分から今年度総会が能代市中央公民館で開催された。

総会には米代西部森林管理署長の古川勝也氏と業務第一課長の加藤忠久氏、山本地域振興局から森づくり推進課長の草薙光氏と森林整備第一班班長の柴田紀晴氏、能代市から農林水産課長の渡部信之氏と課長補佐の清水孝雄氏が出席した。

総会出席者は35名。下の写真は出席者が質問して



いる場面。

鷲尾会長のあいさつによると、会員からの手紙の中に「会報松風の発行がカラーコピーなのは費用がかさ

みもつたいない。白黒印刷にしては？」とあったが、会報「松風」の印刷はコピーではなく、パソコンで作成しており、1枚20円ほどの費用なので今後もカラーで発行する予定にしています。

山本地域振興局から「秋田県水と緑の森づくり税」についての説明があり、本会でも事業活動の一部について県に事業申請を出すことを決議した。

100 「風の松原ガイドの会」結成

3月19日(水)「風の松原ガイドの会」の設立総会が行われた。この組織は「風の松原に守られる人々の会」とは別の組織であるが、本会がガイド養成の講座を開くことを市役所に提言し、18年度から能代市がガイド養成講座を開講。18年度と19年度の2年間に亘り、25回の講義や現地研修を行い、2年間継続して受講した22名中18人がガイド団体の設立に賛同して結成された。会長には福司和夫さん、事務局長に秋林弘道さんが選出され、ガイドの会18名中、風の松原に守られる人々の会の会員が13名。

ガイド料金は人数により1500円から5000円までの3区分を設定。ガイドの申込先は秋林さん ☎52-1582

101 風の松原バードウォッチング

恒例となったバードウォッチングは、4月26日(土)早朝6時～7:30に行われた。陸上競技場本部付近に集

まった人たちは約30名。参加者は双眼鏡やメモ帳を手に小鳥の鳴き声に聞き耳を立てながら、今年開通したばかりの日和山ウ



ッドチップ道から林内へ。講師の渡辺進さん(本会会員)が鳥のさえずりから種類を特定し、特徴などを解説。ツグミ、アカハラ、メジロ、アオジなど15種類の野鳥を確認した。

102 風の松原を守る市民ボランティア大会

5月11日(日)

6回目の開催

となる今年は高校生を含む680人が参加。

本会からは作業リーダーとして2名が協力、他の会員

は例年通り個人で申し込んで参加した。



103 春の自然観察会

当初の計画

では「春の風の松原観察

会」としていたが、林内で

4年間にわたり米代西部森

林管理署が進めていた「森

林整備」「遊歩道の整備」等の事業が終了したのを機に、米代西部森林管理署長さんの講話を含め、「講話と観察会」として5月23日(金)に開催。

講話では米代西部森林管理署の古川勝也署長が「市民の生活を守る風の松原」という題でこれまで4年間



実施した「生活環境保全林整備事業」の概要を説明、市民が四季を感じながら楽しんで散策出来るように工夫した整備内容を紹介した。



観察会では約30名の参加者が4班に分かれ、今年完成したばかりの日和山方面から入り、ウッドチップ道をほぼ一周する形で

行われた。

104 「火の用心」の立看板設置

風の松原地内でタバコの吸い殻のマナーが悪く、山火事防止対策の声が多かったので、本会では平成17年4月に米代西部森林管理署長、山本地域振興局長、能代市長宛に要望書を提出したが、改善されず現在に至っている。

今回森づくり税申請に関連し、米代西部森林管理署・山本地域振興局と個別に協議の結果、6月中旬に風の松原地内5箇所にて火の用心の立看板を設置した。



105 「風の松原」案内リーフレット作成

「森づくり税」を用いて行う森林ボランティア活動支援事業に申請した「①風の松原リーフレット」の編集作業がほぼ終了した段階で、「県の決定時期が何時になるか不明」「ウッドチップ歩道完成にあわせ早く案内マップを発行しよう」と5月23日の春の観覧会に間に合うよう1千部を作成(5月20日版)した。

その後、誤記の訂正や地図の改良を加えて「森づくり税」版リーフレット(6月20日版)五千部が完成。5月20日版と6月20日版とでは30箇所近くの変更があるが、表紙ページ左上の記号がHとなっているのが5月20日版、Aとなっているのが6月20日版である。

なおA

版では製本作業をねむの木苑に依頼して作成した。



106 本会が全国植樹祭で受賞

6月15日(日)第59回全国植樹祭が北秋田市北欧の杜公園で開催された。この式典の中で秋田県知事から秋田県ふるさと水と緑貢献賞の感謝状が授与された。

他の30団体と共に本会も鷲尾会長名で受賞した。感謝状はサン・ウッド能代に掲示中。

107 ニセアカシア萌芽除去作業

今年度第1回目ニセアカシア萌芽除去作業を6月20日9:30~11:30まで日和山地区のウッドチップ歩道周辺のニセアカシア除去作業を実施した。この作業は、散策する市民の

邪魔にならないよう、歩道を明るく保つことを目的とし、歩道周辺に繁茂しているニセアカシアを取り払うことである。なお、この活動は今年度は「秋田県水と緑の森づくり税」による森林ボランティア活動支援事業として実施した。



(写真説明)ウッドチップ歩道の同一箇所でのニセアカシア萌芽除去の様子。左の写真は実施前、右が実施後。

108 「風の松原」美林化ビジョンは?

本会前会長梅田市美さんが風の松原に広がる広葉樹の問題点などを考察した『風の松原』美林化ビジョンは?一市民の読書ノートからを刊行した。本書はクロマツ林がニセアカシアなどの広葉樹林化しつつある現状を憂慮し、行政や市民が取るべき対策を提起した内容となっている。なお、本会では梅田氏の講話を11月頃に予定している。



109 植物名札取り付け作業

7月18日(金)午前9:30~11:30まで今春新設されたウッドチップ歩道に植物名札を取り付け、昨年まで取り付けた名札には支柱をつける補修作業を2班に分かれて実施した。他の行事と重なったが18名が参加、新設・補修あわせて37箇所設置。

